

第23回日本認知療法・認知行動療法学会 (広島)

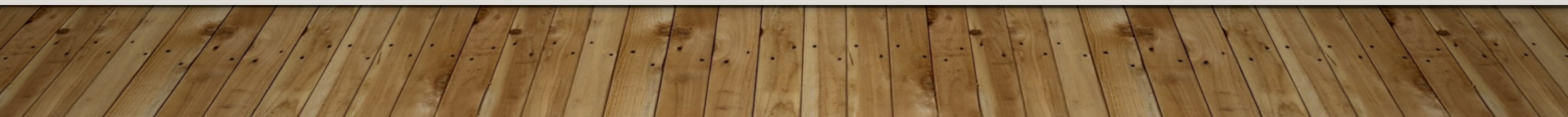
12/01/2023

特別講演3 T3

認知をめぐる随想

医療法人内海慈仁会 内海メンタルクリニック・認知療法研究所

井上和臣

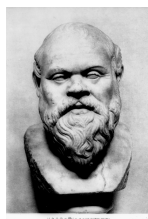


消えゆく認知療法

Vanishing Cognitive Therapy

触媒としての認知療法

自家薬籠中の療法Therapy



- ◆ その過程で、おそらく「認知療法」と名前がつくようなものは消えていく。あるいは、いちばん重要なのは「認知」療法ではなく、療法・セラピーなのではないかというのが、最後のメッセージである。
- ◆ 認知療法が、療法に姿を変えていく過程の「触媒」として、ほかの治療法との接近を図る役割を果たすことがあっていいのではないかと考える。通常の臨床場面では認知療法が大事なのではなく、実は療法が大事であり、治療者がよりいっそう大事なのではないかというのが、本日の私の「認知療法の理論的展開」の結論である。

東 斉彰 編著
『統合的方法としての認知療法』
岩崎学術出版社, 2012.

Inoue Kazuomi, M.D.